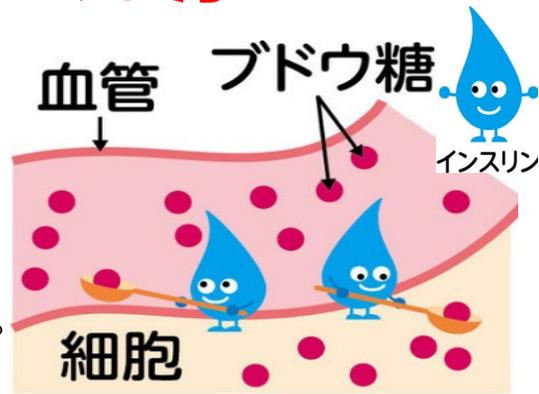


インスリン治療をはじめめる方へ

インスリンとは？

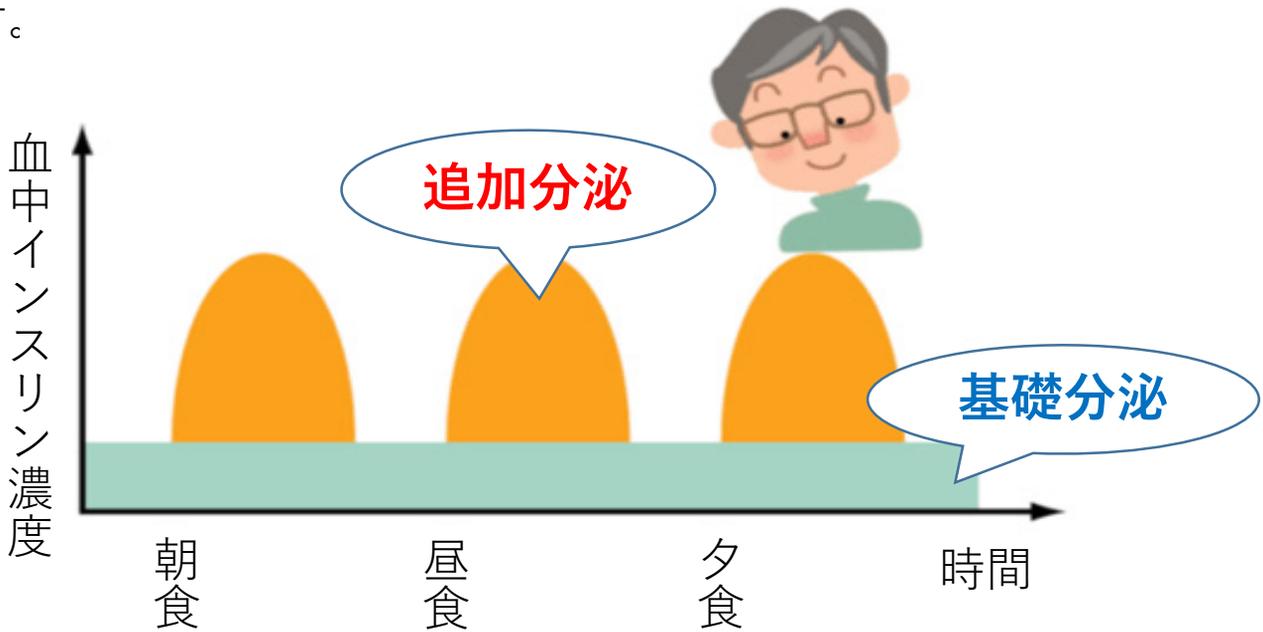
ひとの体の中でつくられるホルモンで、唯一血液中の**ブドウ糖**（血糖）を少なくする働きをもっています。

お腹のちょうど中心にある「**すい臓**」という臓器の細胞からインスリンは作られています。



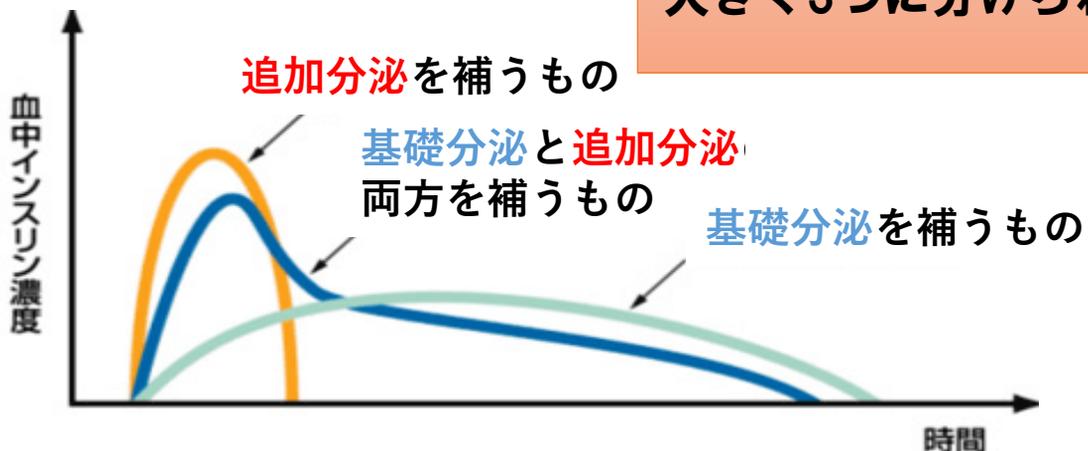
基礎分泌と追加分泌

健康なひとのインスリン分泌は、食事で血糖値が上がったことに反応して一時的に分泌される「**追加分泌**」と、一日中ほぼ一定の量で少しずつ分泌される「**基礎分泌**」の2つがあります。インスリン治療では、これらの2つのインスリン分泌のうち不足している分を**インスリン注射**で補います。



インスリン製剤の特徴

大きく3つに分けられます



主なインスリン製剤の特徴と当院採用薬

特徴	商品名（一般名）
追加分泌を補う	ノボラピッド®(インスリンアスパルト) ヒューマログ®(インスリンリスプロ) アピドラ®(インスリングルリジン) ノボリンR®(インスリント遺伝子組み換え) など
基礎分泌を補う	レベミル®(インスリンデテミル) インスリンラルギン トレシーバ®(インスリンデグルデグ) など
追加分泌と基礎分泌を補う	ノボラピッド30ミックス® ヒューマログミックス® など

インスリン注射の保管方法

- 未使用のインスリン製剤は冷蔵庫で保管してください。
- 使用中のインスリン製剤は室温（1～30℃）で保管して下さい。
- ※直射日光や高温を避けて保管してください。



低血糖に注意しましょう！



●低血糖の症状

インスリン治療により血糖値が異常に下がってしまうと、低血糖をおこすことがあります。低血糖がおきた場合、一般的には冷や汗、動悸、意識障害、手足の震えなどの症状が現れます。

●低血糖になったら？



砂糖

(スティックシュガー、角砂糖など)



ブドウ糖

(薬局などで入手できます)



糖分を含むジュース

などを摂りましょう

成分表示を確認

※**ボグリボース錠、ミグリトール錠**など、糖分の消化や吸収を遅らせるお薬を飲んでいる時は必ず**ブドウ糖**を摂ってください。糖分をとっても症状が改善しない場合は必ず医療機関を受診してください。